

小長井町漁業協同組合は組合員数がおおむね 100 名で、10 トン未満の沿岸漁船でのあさり養殖、刺し網、小型定置が主体です。諫早湾に面しており、諫早の海の恵みを受けております。最近では、県下一斉の浜掃除にも参加し、信用事業の担当常勤理事の設置・最低出資金の一億円への引き上げなどにも取り組んでおります。

世界一干満の差が大きい有明海に面する穏やかな潮の流れと、降り注ぐ太陽の恵みの中で育てられた新鮮な海産物を中心に地元農産物、生活雑貨などを漁協直売店で販売しております。この直売店は国道 207 号沿いです。

当漁協の目玉はカキとアサリです。直売店では紫外線殺菌海水で一晩浄化し販売しております。皆様には機会をつくれ、当地にこられて春夏はアサリ、秋冬はカキを是非ご賞味下さい。このほか、コノシロ、グチ、イイダコ、ガザミなども評判が良く地方発送も行っております。

また、当組合は水産庁の水産研究所、長崎県水産試験場などのご支援で、以前豊富だったタイラギの生産回復のためにタイラギ養殖技術開発にかかわっております。種苗の効率的生産技術、タイラギ稚貝の中間育成方法、出荷までの垂下式養殖方法の開発を通じ、二枚貝の高い環境浄化機能を利用した環境負荷の少ない養殖を確立し、これが地域経済の活性化につながるように組合員一同その成功が待ちどろしく、研究を見守っております。

小長井町を紹介しますと、佐賀県との県境にある長崎県の有明海に面した多良岳の山すそに広がる世帯数 2,463 戸、人口 6,457 人、面積 30.93km<sup>2</sup> (山手線の中の半分の広さ) の町で、行政区では 2005 年 3 月 1 日付で 6 市町合併により、現在では諫早市小長井町となっております。

陽光があふれ有明海の対岸に雲仙の山々を望む緑豊かな町であり、「ハートフルこながい」をキャッチフレーズに、イチゴやメロンなどのフルーツをデザインしたカラフルな待合室のあるバス停、山茶花高原ハーブ園や国指定文化財の小長井のオガタモノキがあります。「小長井のオガタモノキ」は樹齢 1000 年以上のモクレン科の常緑樹で、高さ 20m、根元の幹廻り 9m 余。オガタモノキでは日本一の巨樹です。2~3 月にはモクレンに似た芳香のある紅紫色を帯びた白色花をつけます。また、7 世紀後半の築造といわれる長戸鬼塚古墳の内部には船と捕鯨とわかる線刻図があり、有明海で古代人が捕鯨を行っていたことが証明されます。



美味しいカキをはくむ有明海



「小長井牡蠣」



漁協直売店の「かき焼き小屋」



ガザミ



「小長井牡蠣」の燻製・しぐれ煮



小長井町漁業協同組合



小長井町漁協直売店



長崎県

諫早市小長井町



長崎県

# 小長井町漁業協同組合

<http://www.jf-konagai.com/> 〒859-0165 長崎県諫早市小長井町小川原浦名 499

Tel 0957-34-2244 Fax 0957-34-2248

代表理事組合長 新宮隆喜